

# 平成30年度 小国小学校の取り組み

【学校教育目標】 白い森の国おぐにを愛し、すすんで学び、心豊かでたくましい子どもの育成

【めざす子ども像】 **なかよく かしこく さわやか おぐにっ子**

- (1) よく考え すすんで学ぶ子ども・・・・・・・・・・(知)
- (2) 心豊かで 思いやりのある子ども・・・・・・・・・・(徳)
- (3) 心身ともにたくましく 健康な子ども・・・・・・・・・・(体)
- (4) 国際的な視野を持ち 郷土に誇りを持つ子ども・・・・(郷土愛)

## 学校経営の重点「小国町の未来を担う心身ともに健康なおぐにっ子の育成」

1 子ども主体の授業づくりを積極的に押し進め  
確かな学力の向上を図る。

- (1) 「学習の約束」の統一した指導と家庭学習の習慣化
- (2) 「自分の力で考える場」の設定と「主体的・協働的」に課題を解決する力の育成
- (3) ICT機器のより積極的な活用
- (4) 読書指導の充実と読解力の育成

▶▶▶ 《自ら学ぼうとするおぐにっ子》を育てます。

2 自己有用感を高め、自尊感情を育み、他者を  
思いやる心を育てる。

- (1) みんなが気持ちよくすごすための生活習慣の育成  
(規範意識、ていねいなあいさつ、「さん・くん」付け)
- (2) 互いのよさを認め合える温かな集団づくり
- (3) 意欲と実践的な態度、成就感を大切にしたい児童会活動の充実 (ボランティア意識の醸成)

▶▶▶ 《関わりあって活動できるおぐにっ子》を育てます。

3 たくましい心と体をもつ子どもを育てる。

- (1) 教科体育や自主的な運動を通じた体力づくり  
(授業初め5分間の体力づくり、ランランロードの活用)
- (2) 「いのちの教育」の充実  
(食育、安全教育、自分の命は自分で守る教育)
- (3) 家庭と連携した生活リズム、セーブメディアの取り組み

▶▶▶ 《たくましさを身につけたおぐにっ子》を育てます。

4 国際的な視野をもち、郷土に誇りをもつ子どもを育てる。

- (1) 保小中高一貫教育とコミュニティ・スクールの推進  
(国際教育、保小・小中の連携、地域との連携協働)
- (2) 地域を愛し、地域に貢献しようとする心の育成  
(地域に触れる活動【郷土を知る日】、白い森学習)

▶▶▶ 《故郷が大好きなおぐにっ子》を育てます。

## 保小中高一貫教育の取組

1 「国際」「情報」「白い森学習」「キャリア教育」

- 「国際」(小学1年生からの英語活動)
- 「情報」(小学1年生からの情報機器活用の学習)
- 「白い森学習」(地域学習)
- 「キャリア教育」(小学校からの生き方教育、職業観)

2 保育園・叶水小・小国中との交流

- 「保育園との交流」(保小連携コーディネーターの配置、小1スタートプログラム：保育園児と1年生の交流、小学校の先生と遊ぼう)
- 「叶水小との交流」(小学3年生 町めぐり・小学4年生 山形見学合同実施、授業の交流)
- 「小国中との交流」(合唱の交流、中体連壮行式友情応援、合同の避難訓練、地区体協顔合わせ会、児童生徒の交流)

3 教職員の交流、町一斉清掃

## その他の取り組み

1 コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の推進 (地域や保護者の力を学校教育に積極的に取り入れ、地域総ぐるみの教育を進める。見守り隊、学校環境等の学校サポーターの整備)

2 ICT(情報通信技術)教育の充実 (電子黒板と1人1台タブレットの活用・普及)

3 一人一人を支援する教育の充実 (学習支援員等の手あつい配置)